

備えあれば、憂いなし!!

# 高齢者予防接種はお済みですか？

## インフルエンザワクチン

インフルエンザは感染力が非常に強く、高熱や関節痛など全身に症状が出るのが特徴です。また、気管支炎や肺炎を併発し、重症化することがあります。

一人ひとりが予防に努め、感染を防ぐとともに、感染した場合には周囲の人につかないよう注意しましょう。

## ●どのように予防するの？

- ①咳エチケットの実施
  - ・咳やくしゃみが出たら他の人につかないためにマスクの着用を徹底する。
  - ・鼻汁や痰などを含んだティッシュは、すぐにふた付きのゴミ箱に捨てる。
- ②手洗いうがいの徹底
  - ・外出先から帰宅した際は念入りに手洗いうがいをする。
- ③流行した際の行動は？
  - ・不用意な外出はできる限り避ける。
  - ・外出時には必ずマスクを着用する。
  - ・栄養バランスの摂れた食事

や十分な睡眠をとる。

・室内温度や湿度を調整する。

## ●予防接種費用の助成制度

### ■対象者

- ①接種日現在65歳以上の方  
(接種の際は送付した予診票を必ずお持ちください。)
- ②60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に1級程度の障害がある方(希望者は身体障害者手帳を持参し、健康づくり課にお申し出ください。)

### ■助成金額

- 2,500円まで
- ※医療機関により費用が異なり、2,500円を超える差額は、医療機関窓口にて自己負担となります。
- ※実施期間および指定医療機関以外で接種の場合は全額自己負担となりますのでご注意ください。
- ※医療機関等詳細は広報10月号P7をご覧ください。

### ■実施期間

1月31日(木)まで

## 肺炎球菌ワクチン

肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛沫感染します。

平成30年度末をもって経過措置が終了する見込みです。で、本年度対象の方で接種希望の方は早期に予防接種を実施し、肺炎の発症および重症化予防に努めましょう。

## ●予防接種費用の助成制度

### ■平成30年度定期接種対象者

- ①平成31年3月31日の時点で、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の方で過去に一度も肺炎球菌ワクチンを接種したことがない方  
(接種の際は送付した予診票を必ずお持ちください。)
- ②60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に1級程度の障害がある方で過去に

一度も肺炎球菌ワクチンを接種したことがない方(希望者は、身体障害者手帳を持参し、健康づくり課にお申し出ください。)

※任意接種で、すでに肺炎球菌ワクチンの接種を受けた方は対象外となります。

### ■助成金額

接種費用の1/2(上限4,000円、100円未満切捨)

※実施期間および指定医療機関以外での接種の場合は全額自己負担となりますのでご注意ください。

※医療機関等の詳細についてはお問い合わせください。

### ■実施期間

3月31日(日)まで

## 日本脳炎の予防接種のお知らせ

日本脳炎の予防接種は接種後に重い病気になった事例があったことをきっかけに、平成17年度から21年度まで、積極的な勧奨を差し控えていました。

このため、平成7年度から18年度に生まれた方は予防接種を受ける機会を逃していることがあります。接種を希望される方は、母子健康手帳等をご確認いただき、健康づくり課へお問い合わせください。

今年度18歳となる方(平成12年度生まれの方)については、第2期接種のご案内を5月中に送付していますので、ご確認ください。

公費接種期間や接種間隔等詳細については、健康づくり課へお問い合わせください。

なお、接種の際には事前に医療機関にご予約をお願いします。

■定期接種対象者以外の方  
過去に一度も肺炎球菌ワクチンを接種されたことのない66歳以上の方にも、希望される方には接種費用の一部助成しています。事前に申請が必要ですので、必ず接種する前にお問い合わせてください。

### ■経過措置終了後の対象者について

経過措置終了後は、65歳の方と上記②に該当する方のみが対象となる見込みです。

※66歳以上の方への助成は平成30年度末にて終了の見込みですのでご注意ください。

### ■申し込み・問い合わせ

健康づくり課

健康増進担当  
☎23・4310